

日産自動車が業績予想を下方修正－米国を中心とした収益性の回復状況を注視

以下は、4月24日に日産自動車株式会社（証券コード：7201）が19/3期の業績予想を下方修正したことに対する株式会社日本格付研究所（JCR）の見解です。

■見解

- (1) 日産自動車は4月24日に、19/3期営業利益が前期比44.7%減の3,180億円になる見通しであると発表した。従来予想（4,500億円）を1,320億円下回り、2月に続き2度目の下方修正となる。米国市場での品質保証関連のコスト増加と米国市場を中心とした販売不振が下方修正の主要因である。2月の下方修正時に北米および欧州事業の収益性低迷が顕在化していたが、グローバル販売台数見通しは北米、欧州、日本などで更に下振れている。国内では完成検査問題やカルロス・ゴーン氏の逮捕など一連の問題による販売への影響も出ているもようである。
- (2) 自動車業界ではCASE（コネクテッド、自動運転、シェアリング、電動化）に表わされる次世代技術の開発が本格化しているが、その中での業績下振れが中期的な競争力に影響しないか懸念される。また当社は米国市場において販売奨励金を活用した規模拡大路線からブランド重視へ営業戦略の転換を進めているが、世界経済は米中貿易摩擦などを背景に不透明感が増している。JCRでは引き続き米国を中心とした収益性の回復状況、資本関係の見直しの動向をフォローし、必要に応じて格付に反映させていく。

(担当) 窪田 幹也・上村 暁生

【参考】

発行体：日産自動車株式会社

長期発行体格付：AA-

見通し：安定的

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的正確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.

信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル